

私立大学図書館協会 2008年度第2回東地区部会役員会  
議事要録

日 時:2009年1月29日(木) 15:00~17:00

場 所:帝京大学八王子キャンパスメディアライブラリーセンター2階(グループ学習室)

出席者:現役員校

会長校<中央大学(荒木、工藤)>、研究部担当理事校<東京経済大学(丸本、関)>、更新・会報担当理事校<共立女子大学(久保、佐々木)>、月例担当理事校<國學院大学(古山)>、東北・北海道地区担当理事校<北星学園大学(宮川)>、監事校<駒澤大学(佐藤)>、部会長校<帝京大学(坂井、南、中嶋、辺見、中満、川北、三浦)>

次期役員校

部会長校<青山学院大学(添田、赤間、伊藤、岩崎)>、研究部担当理事校<東京理科大学(宮川)>、分科会更新担当理事校<跡見学園女子大学(菊地)>、分科会月例担当理事校<関東学院大学(小宮)>、東北・北海道地区担当理事校<東北学院大学(三浦)>

配付資料:

議事次第

「私立大学図書館協会東地区部会 2008年度第1回役員会」資料(以下、「役員会資料」と記載)

<資料編>

資料1:第2回役員会 出席者名簿&座席表

資料2:第2回常任幹事会資料

資料3:2009年度東地区部会予算(算出根拠)

資料4:研修分科会(新規発足)資料

資料5:私立大学図書館協会東地区歴代役員校一覧

資料6:役員校等選考に関する申し合わせ事項

資料7:私立大学図書館協会組織図

議事に先立ち、部会長校帝京大学(坂井)より挨拶が行なわれた。議事進行は、部会長校帝京大学(南)が担当した。

議事:

1. 報告事項

(1) 東地区部会関係

2008年度東地区部会会務報告(4-12月)

部会長校帝京大学(中嶋)より、役員会資料(p.2-4)に基づき、ア.加盟校数、イ.活動報告について報告された。なお、植草学園大学より新規加盟申請が出ていることも報告された。

2008年度東地区部会研究部活動報告(4-12月)

研究部担当理事校東京経済大学(関)より、役員会資料(p.5-7)に基づき、ア.運営委員会、イ.合同会議、ウ.研究会(交流会)、エ.研修委員会、オ.研修会、カ.研究分科会の各活動について報告された。

(2) 第2回常任幹事会報告

部会長校帝京大学(中嶋)より、12月5日(金)に開催された常任幹事会について、資料2に基づき、主に以下の事項について報告された。

- ・ 新規加盟校
- ・ 国際図書館協力委員会 2008年度海外集合研修について
- ・ 協会ホームページサーバ運用要項改正について
- ・ 研究助成委員会 2008年度研究助成辞退について
- ・ 協会賞と研究助成の応募について
- ・ 次々期役員校、総会当番校の選出について
- ・ 2008年度中間決算、2009年度予算(案)...会長校中央大学(荒木)より報告
- ・ 2009年度総会・研究大会について
- ・ 加盟図書館名簿の作成について(協会 HP 加盟館名簿に一本化、冊子体作成の中止)

2. 協議事項

(1) 2008年度東地区部会中間決算について

部会長校帝京大学(中嶋)より役員会資料(p.9)に基づき、中間決算が報告され、承認された。

(2) 2008年度東地区部会研究部中間決算について

研究部担当理事校東京経済大学(関)より役員会資料(p.10)に基づき、中間決算が報告され、承認された。

(3) 2009年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)について

部会長校帝京大学(中嶋)より、役員会資料(p.11-12)に基づき、次期部会長校青山学院大学のもとで執行されることを前提として報告され、承認された。

事業計画(案)について

(1)に「地域参加館との連携強化」を、(2)に「研修分科会の発展」を追加した。

予算(案)について

- ・ 加盟校数は255校分で算出している。植草学園大学から新規加盟申請が出ているが、予算には反映されていない。
- ・ 研修分科会の新設にあたり、予算を計上している。

(4) 2009年度研究部活動計画(案)及び予算(案)について

研究部担当理事校東京経済大学(関)より、役員会資料(p.13-14)に基づき、次期研究部担当理事校東京理科大学のもとで執行されることを前提として報告され、承認された。

活動計画(案)について

研究分科会に研修分科会を新設する。

予算(案)について

研修分科会の新設にあたり、予算を計上している。

(5) 研修分科会(新規発足)について

研究部担当理事校東京経済大学(関)より、資料4に基づき、研修分科会を新規発足することについて以下のように報告され、承認された。

- ・ 休会・廃会が増えている研究分科会の活性化を図るため、研究分科会の中に研修分科会を新設することにした。(新規採用または異動してくる図書館員を育てる活動として、基本知識を実態に即した技術として習得できる場として考えている。また、従来の分科会への参加の増加も見込まれる。)
- ・ 研修は NPO 法人大学図書館支援機構に依頼している。
- ・ 運営予算については、新規立ち上げの経費として、発足から2年間は、廃会分科会返還金(2008年度部会長校へ返金)を充てることが部会長校より了承され、2009年度予算(案)に計上している。しかし、現在の規模で分科会と研修分科会を持続すると3年程度で赤字となる見込みであるため、研修会参加費や分科会の会員参加費の増額などによる対策が必要である。
- ・ 28名の定員のうち、現在までに27名の応募があった。

(6) 次期東地区部会選出委員について

部会長校帝京大学(中嶋)より、役員会資料(p.15-16)に基づき報告され、承認された。

なお、役員会資料(p.15)に研究助成委員会の立教大学 小泉委員が記載されていなかったため修正し、再配付する。(会議後差し替え資料として再配付)

(7) 2009年度部会総会、館長会及び研究講演会の開催(案)について

部会長校帝京大学(中嶋)より、役員会資料(p.17)に基づき、2009年6月12日(金)に「2009年度東地区部会総会・館長会及び研究講演会」が獨協大学で開催される予定との報告がされ、承認された。

なお、役員会資料(p.17)には研究講演会について未定となっているが、「図書館の評価について」の2講演を予定していることが研究部担当理事校東京経済大学(丸本)より報告された。(会議後差し替え資料として再配付)

(8) 東地区部会講師謝礼等の基準 改正について

研究部担当理事校東京経済大学(関)より、役員会資料(p.18)に基づき、講師謝礼についてグループで講演・講義が行われた場合の規定がなかったため、「また、グループで担当する場合には、そのグループに対して上記金額を支払うものとする。」を追加することが提案され、承認された。

(9) 東地区部会役員校選出について

部会長校帝京大学(中嶋)より、役員会資料(p.19)に基づき、2011 - 2012年度の東北・北海道地区担当理事校として酪農学園大学が選出されることになったが、東北・北海道地区以外からの理事校の選出 役員校活動費の改善 について要望が出されていることが報告された。

また、東北・北海道地区担当理事校北星学園大学(宮川)より、補足説明があった。

- ・ <回答>2- について

役員会の回数は4回としているが、東西合同役員会の1回は総会と同時に開催されるので実質は計3回と考えている。

- ・ 役員校活動費の増額が主眼ではなく、東京地区以外からの理事校選出について見直しをしたい。

## < 協議内容 >

### 理事校選出のルールについて

- ・ 理事校は部会長校により選出されるので、選出のルール変更について総会での議決を得る必要はないが、部会総会で協議事項として諮る必要がある。
- ・ 東北・北海道以外の地区から理事校の選出をする場合、地区をどのように分け、どのようにローテーションするか等の問題もあり検討が必要である。
- ・ 会報担当理事校は現在会長校地区の理事校が兼任しているが、これを別枠にして関東地区以外の大学から選出する方法もあるのではないかと。

### 役員校活動費について

- ・ 2004年1月に「役員校活動費」運用内規として、部会長校より300km以遠の役員校に対して10万円を補助することが承認されている。金額変更は東地区役員会の承認で可能である。なお、西地区部会には役員校活動費にあたるものはない。
- ・ 選出される大学により役員会出席にかかる経費や事情が異なることを考慮したうえでのルール作りが必要である。
- ・ 場合によっては協会側が交通費等を負担することも検討できるのではないかと。

### 関東地区以外の理事校の負担軽減について

- ・ 議事承認方法の見直し(役員会と東西合同役員会とで重複する事項)。
- ・ テレビ会議や電子メールを活用等の検討。
- ・ 研修会等を関東以外の会場で行うことなどを検討することもできるのではないかと。

上記の協議の後、運用内規の改訂も含めて次期役員会でも引き続き検討していくことが承認された。

## (10) 役員校等選考に関する申し合わせ改訂について

部会長校帝京大学(中嶋)より、資料6に基づき、以下の点について、2010年度次期役員校選考委員会に提案することが報告され、承認された。

### 協会ホームページ委員会

「会長校、部会長校、研究部担当理事校、監事校から各1名、その他の加盟校から1名を選考し、推薦する。ただし、会長校が西地区部会から選出の場合は、2名推薦する。」より、下線部分を削除。

なお、委員長選出が難しくなっているため、委員選出方法を含めて次期委員会で検討する予定である旨、会長校中央大学より報告があった。

### IFLA日本委員会

2009年よりIFLAを脱退したため、「IFLA日本委員会」の項目を削除。

### 図書館年鑑編集委員会

「日本図書館協会 図書館年鑑編集委員」の項目を追加。以前から会長校より役職者が選出されているが、明記されていなかったため追加する。

### 3. 懇談事項

#### (1) 東地区部会役員校事務引継ぎについて

部会長校帝京大学(中嶋)より、役員会資料(p.22)の次期東地区役員校一覧に基づき現役員校から次期役員校に速やかに引き継ぎを行うよう、依頼があった。

以上